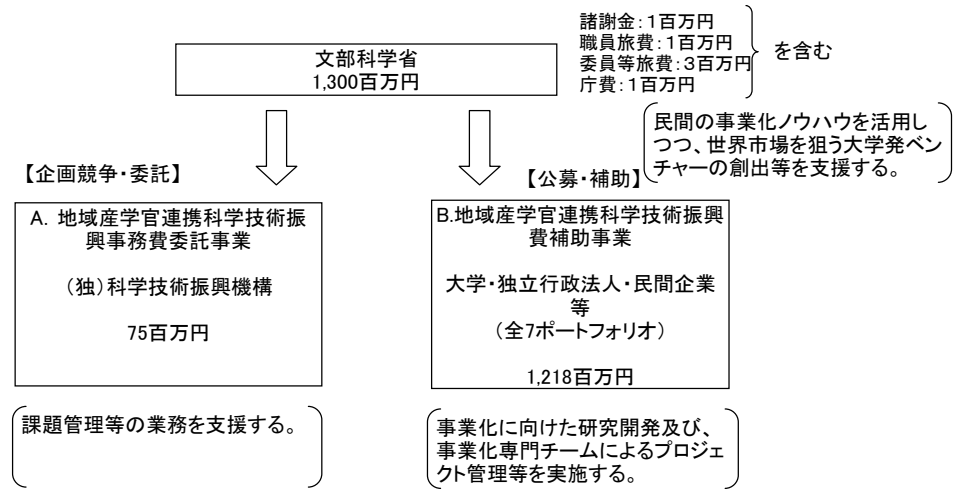


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学発新産業創出拠点プロジェクト		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	産業連携・地域支援課		産業連携・地域支援課長 里見 朋香		
会計区分	一般会計		施策名	施策目標：7-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	○日本再生のための基本戦略について(平成23年12月24日閣議決定) ○第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	民間の事業化ノウハウを活用し、大学の革新的技術の研究開発支援と事業化専門チームによる事業育成を一体的に実施し、国際市場を目指す有望な大学発ベンチャーの創出等へ発展させることで、大学等の優れた研究成果に基づく新産業・新市場の創出による日本経済の発展及び、持続的にイノベーションが創出されるような大学発日本型イノベーションモデルの構築を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>大学等の研究成果をベンチャー起業等により事業化するために最適な民間の事業化ノウハウを持つ人材(事業プロモーター)を公募により人選し、事業プロモーターが有望なシーズを発掘し、複数のシーズをマネジメントすることにより、リスクが大きい社会的インパクトの大きい課題等について事業化を行うことを支援する。</p> <p>具体的には、各事業プロモーターがシーズごとに、知財専門家、企業家、産業人材等による事業化専門チームを立ち上げ、事業化構想の構築やチームによるプロジェクト管理を行うとともに、事業化のための研究開発支援を行う。また、シーズの支援に当たっては、各事業プロモーターが地位性を踏まえたポートフォリオを形成・管理することで、リスクは高いがポテンシャルの高い大学等の革新的技術支シーズを支援するとともに、全国各地における大学発ベンチャーの創出等による新産業・新規市場の創出を目指す。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算				1,300	2036	
		繰越し等				-	-	
		計				1,300	2036	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	国際市場を目指す大学発ベンチャーの創出とそれによる雇用創出や社会的意義のある(リスクの高い)シーズを育成した件数などの指標を第三者委員会において検討する予定。		成果実績		-	-	-	検討中
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	支援するポートフォリオ(革新的技術シーズ)の数		活動実績(当初見込み)		-	-	-	7
単位当たりコスト	(174百万円/年 1支援対象課題のポートフォリオ形成)		算出根拠	補助金予算額:1,218百万円/7ポートフォリオ				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1百万円	2百万円					
	職員旅費	1百万円	2百万円					
	委員等旅費	3百万円	4百万円					
	庁費	1百万円	2百万円					
	地域産学官連携科学技術事務費委託費	75百万円	90百万円					
	地域産学官連携科学技術事務費補助金	1218百万円	1936百万円					
	計	1,300百万円	2,036百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	事業の政策的重要性については、科学技術・学術審議会産学連携・地域支援部会産学官連携推進委員会において、事業の必要性や国が実施すべき必要性について、審議を実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業の推進にあたっては、「大学発新産業創出拠点推進委員会」を設置し、この事業を実施するにあたり重要な役割を果たす事業プロモーターや支援プロジェクトの審査・選考、事業に係る実施方針等の検討、事業全体の評価等を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成24年度から新たに事業を開始したため、現時点では記載なし。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>現時点で問題はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携や起業・創業への支援については、「日本再生のための基本戦略」(平成23年12月24日閣議決定)等においても示されている通り、日本の再生に向けた重要な取組である。 現在、我が国では起業の廃業率が開業率を上回る等、産業構造の代謝が停滞しているとともに、日本の優れた基礎研究の成果が死蔵されるなど、イノベーションのリンク切れが起こっている。大学発ベンチャーは、大企業が負えないリスクにチャレンジし、新産業・新分野の新規市場を開拓するなど産業の代謝のドライビングフォースとなるため、我が国の経済の再生には必要不可欠である。 これまでの大学発ベンチャー支援は、ベンチャー立ち上げ後の支援を中心に、様々な競争的研究資金制度を活用した研究開発支援が実施されてきたが、最適な事業化構想や知財戦略が構築できず、販路・市場の開拓や収益確保の課題の顕在化や、シーズがアーリーな段階でありリスクが高いため、民間のリスクマネーの十分な確保が見込めない等の問題が指摘されていた。本事業は、研究開発支援と事業育成の一体的推進による起業前段階の支援の最適化する観点から必要不可欠である。 大学等の基礎研究の成果については、優れたポテンシャルがあるものの、新規市場の開拓や事業化のための更なる研究開発等が必要であるため、既存企業等がそのリスクを取らない傾向にある。日本経済の再生のため、リスクは高いが、社会へのインパクトが大きく、ポテンシャルのある大学等の優れた基礎研究の成果について、技術移転の手段としての大学発ベンチャー等を通じて研究開発成果を社会に還元していくをするシステムの構築が必要であり、そのシステムを通じて民間のリスクマネーを呼び込んでくることが重要である。 		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○大学発新産業創出拠点プロジェクト HP http://www.jst.go.jp/vc/</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0023

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。
※※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 科学技術振興機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	人件費	50			
	消耗品費	1			
	国内旅費	2			
	外国旅費	7			
	その他	15			
計		75	計		0
B. 大学・独立行政法人・民間企業等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	ポートフォリオにおける研究開発支援・事業化支援等	1,218			
計		1,218	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0